

調査等事項報告（団体名：総務文教常任委員会）

視 察 先	鶴岡市
対 応 者	鶴岡市 企画部地域振興課長 鈴木康行様 / 同 専門員 下元敬己様 鶴岡市 議会事務局専門員 渡部秀則様
視察日時	令和 7 年 7 月 9 日 (水) 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
視察項目	鶴岡市の地域公共交通
視 察 者	矢萩浩次、柴崎亮太、高橋菜穂子、石沢祐一、田中正信、 高橋卯任、森直也、松倉慶子
報 告 者	高橋菜穂子
視察の内容	はじめに 当委員会でテーマとしている地域公共交通について、市内循環路線バスを再編し、利用者が増加したという鶴岡市の事例を学び、市内の市営バス路線を検証することを目的とする。 視察事項 1. 鶴岡市の地域公共交通の概要 公共交通の運行上記用 ◆空路 : 庄内空港 ◆鉄道 : JR 東日本 羽越本線 10 駅 ◆路線バス : 1 社 22 路線 ◆市営バス : 3 路線 ◆タクシー : 11 事業者 ◆デマンド交通 : 5 地区 ◆定時定路線型デマンド交通 : 5 路線 ◆その他 : ボランティア輸送 2 地区 福祉有償運送 (3 法人 2 組合) 乗り合いタクシー (月山号など) 2. 市内交通 (株) の市内循環線の再編について 平成 28 年策定の鶴岡市公共交通網計画より、市内循環線再編の構想があり、コロナ化を経て利便性向上による利用者増加を図るという逆転の発想により令和 4 年 10 月に市内循環線の再編を実施した。 運航便数 12 便/日 ⇒ 48 便/日 バス定数 58 か所 ⇒ 79 か所 (300m に一か所) 路線数 2 路線 ⇒ 3 路線 運航日 月～金曜日 ⇒ 毎日 (年末年始を除く)

運賃 200 円～420 円 ⇒ 一律 300 円

再編に当たっては、特に利便性向上のため、高齢者のみの世帯が多い地域を通過するように路線を設定したり、毎時〇分発のように、わかりやすいダイヤを設定したり、工夫をしている。

利用者は R3 年 16,474 人から R6 年には 94,882 人まで利用者が伸びているのは、路線住民への周知活動、ポスティングや乗り方教室の開催、市内観光との一体的なマップが有効に作用したものである。

3. 外出支援策・免許返納者への対応

○ゴールドパスおよび免許返納者定期券 庄内交通㈱の路線バス定期券を購入する際に通常より安く購入できるように助成を行っている。

○運転免許返納支援として、タクシー乗車券、バス乗車カード、バス回数券のいずれかを 5000 円程度を交付している。

4. 高等学校など生徒通学費支援事業

公共交通の定期券費用を支援し、高校生等の通学費負担の平準化を図るとともに、過疎地域での子育て支援や定住促進を目的とし、併せて、減少傾向が続くバス路線など公共交通機関の利用拡大を目指し事業を実施している。

① 定期券費用の補助

② 自家用車送迎費用の補助

補助実績は、令和 5 年度 74 名 (4,123,178 円)、令和 6 年度 192 名 (9,191,297 円) である。

おわりに

市内循環バスについては、路線やダイヤの組み方に加え、民間によるバスの小型化や周知活動の徹底、行政による定期券補助などが相乗効果となり利用者拡大につながっているものと捉えられる。また、バス停と観光マップが一体となった観光案内は、とても見やすくできていた。

鶴岡市は、平成の大合併により面積が拡大したが、旧町村が実施してきた公共交通支援と、鶴岡市の中心市街地の路線バスとがうまく連携しており、免許返納後にも公共交通が利用できるように体系的に整備されている。今回は視察事項として、市内循環バスに絞ったが、面積が広い市は共通課題として、地域と市街地をどう結ぶかが課題であり、参考になる事例となった。